

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 1月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	1070200868
法人名	有限会社ほっとぱーく
事業所名	グループホームほっとぱーく
所在地 (電話番号)	群馬県高崎市竜見町4-17 (電話) 027-321-9809
評価機関名	はあとらんど
所在地	群馬県 前橋市大友町2-29-5コミュニン100
訪問調査日	平成20年11月18日

【情報提供票より】(20年 11 月15 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 12月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	12 人
利用定員数計	9 人
	常勤 6人, 非常勤 6人, 常勤換算 8.1人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / <input checked="" type="radio"/> 単独	新築 / 改築
建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有(円) <input type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有 / <input checked="" type="radio"/> 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(11月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 87 歳	最低 71 歳	最高 99 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	城南病院 高崎中央病院通り町診療所 はるな生協歯科
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地の中にありながら静かな場所にある施設。一部既存の家屋を利用した新築のグループホームになっているが、周囲の家と違和感無く地域の中にあるホームという雰囲気がある。管理者は働きやすい職場を作ろうと努力している。そういった管理者の気持ちが職員にも伝わり、利用者への接遇にも表れている。利用者も職員もゆったりとした会話や動きの中で生き生きとした表情で共同生活をしている。利用者はほとんど近くの人であり、住み慣れた地域で知人や慣習などなれ親しんだ環境の中で生きて行く安らぎが感じられているように見受けられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型サービスとしての理念→職員全員で考え地域での生活に視点を置いた理念を作り上げた。評価の意義の理解と活用→自己評価は職員全員に配り意見を吸い上げ管理者が仕上げた。現状に即した介護計画の見直し→随時と3ヶ月の見直しはあるがモニタリングに基づいた見直しになっていない。入浴を楽しむ事の出来る支援→利用者の希望を聞きタイミングにあわせた入浴のシステムがある。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は自己評価について全職員に意見を聞き職員も今回の評価に意見を述べている。取りまとめは管理者が行っている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1度定期的開催されている。施設からは状況報告などなされている。各委員から出された意見は職員会議で話し合い、サービスの向上に活かされている。特に多くのボランティアの人達が施設への訪問に結びついている。また家族の参加者も施設の現状などを理解され、不安の軽減になっている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議には家族が参加し、意見や希望を聞く機会を設けている。面会時にも家族の意見や不安など言い易い雰囲気を作り意見を聞きだす努力を行っている。またデータや記録なども見てもらい家族に納得してもらっている。家族との情報交換を密にして意見を言いやすく、不安を察知するようにしている。意見は運営に反映されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の保育園や小学校との交流があり、園児には慰問に来てもらっている。また小学校との交わりでは運動会に招待されている。学生実習の受け入れもあり外部の人との交流が多く持たれている。また地域の行事(夏祭り、作品展など)に参加している。日常的には近隣の人に挨拶を交わし野菜をいただいたり、花などいただいたりしている。近隣、地域との交流は日常的に持たれている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域の中の生活」としての理念が謳われている。散歩の時など声を掛けたり地域の人との交流があり理念が活かされている。公園での交流からボランティアの参加希望者が生まれている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員に対してケアの場面や会議の時など理念を説明し共有できるように取り組んでいる。		
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の保育園、小学校などとの交流があり歌やゲームなど一緒に楽しんでいる。また地域の行事、作品展などにも参加している。地域の人から野菜をいただいたり、盆栽を借りたり、花をいただいたりと地域住民との交流も盛んにある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を理解しており職員全員と今回の評価に取り組んだ。取りまとめたものを管理者が記載した。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度定期的開催をしている。市職員、民生委員、利用者家族、管理者等が参加している。施設のほうからは状況報告等行っている。会議の中からボランティアの参加希望者が出たり、利用者にとってケアの質の向上になっている。また情報の交換の場として役に立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は困った事等があると市に電話で相談をしている。また介護保険の申請代行などで市役所に出掛けた時担当者の人に声を掛けている。また研修の情報があつた時には参加をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会に見えたときには健康面での報告等行っている。また緊急時にはその都度家族に電話で報告を行っている。施設で発行している『てんとう虫通信』を家族に配っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の時にも家族に声を掛けながら意見など吸い上げる努力をしている。また運営推進会議でも意見を言い易い雰囲気を作っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員の異動は極力少ないようにと思い職員が働きやすい環境を作ろうと努力している。職員の異動は無い。職員が意見等言い易いように食事会や親睦会を行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加をしている。研修は勤務として扱われている。基礎研修、中堅職員研修、救急研修、虐待についての研修等、管理者は研修が職員を育てる事を理解している。参加した職員は会議の時に研修の報告を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加している。協議会開催の研修に参加している。実習生の受け入れも行っている。利用者は馴染みの職員と外部の実習生との人とのつながりを体験している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	基本的には最初家族に施設の見学をしてもらう。施設のほうから出向く事もある。拒否のある利用者の人に対しては管理者・職員は時間を掛けて徐々に慣れてもらうように何回も誘ったり工夫をしながら利用者が納得して入所できるように支援している。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	管理者・職員は利用者を人生の先輩として尊敬をしながらケアをしている。利用者から人生の生き方や料理の仕方、行事の意味など教えてもらっている。先輩としてまた自分が行く老い道の指導者としてケアを行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日々の会話を通して一人ひとりの意向を確認している。その記録が細かく記載されている。また家族の人からも情報をいただきながら利用者の意向の把握に努めている。		
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員は利用者で利用者の家族の意向の確認を行っている。その意向はケアマネジャーが確認をしている。アセスメントは担当制になっていてより利用者の意向の反映をしやすい計画に繋がっている。職員とケアマネジャーで相談しプランを立て家族に確認を取っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は随時見直しと3ヶ月毎の見直しがされている。3ヶ月毎のモニタリングがあり見直しがされている。	○	随時見直しがされているがモニタリングが3ヶ月毎になっている。毎月のモニタリングを行い、計画の見直しにより利用者の身体状況にあった計画が作成されるものと期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が通院支援できない場合は施設での通院支援を行っている。また利用者の墓参りや、自宅訪問、買い物、ドライブなど柔軟な支援を行っている。		
、					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は希望のかかりつけ医を選べる。遠距離であったり家族受診が出来ない場合には了解を得て協力医に変更をお願いしている。施設は利用者と利用者家族の希望もあり医療との連携体制を整えている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度になった場合の指針が作ってある。入所の時に説明を行っている。利用者の状況の変化に応じて再び説明を行い家族の意向の確認を行っている。その都度説明し了解を繰り返している。職員も指針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員に対しては入職のときに誓約書をもらっている。日常的に管理者は職員にプライバシーについて話している。利用者・家族の人に対しての言葉使いなどにも気を配っている。家族からの情報が統一されるように家族窓口の担当者を決めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の予定は食事と入浴時間のほかには決まりが無く自由に過ごす事が出来る。利用者の動きに合わせてケアをしている。安全、清潔を大切にしながら職員は利用者のペースを大切にした支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は献立作りに参加している。また職員との買い物にも同行している。料理の下ごしらえなども職員と利用者が一緒に作業しながら食事をともに楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は一応決められている。最低でも週に3回の入浴が出来るようになっている。夜間の入浴の希望を取り検討したが希望者がいなかった。入浴拒否などある人には下半身浴が行われている。また声かけを行い、決められた曜日以外でも入浴できるシステムがある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	身体状況に応じた役割がそれぞれに用意されている。洗濯物たたみ、掃除(全員が拭き掃除を行っている。)下膳など行っている。楽しみごとには歌、音楽鑑賞、計算ドリル、外食、ドライブ、体操、ボランティアの訪問、気晴らしとして戸外に出る、読書、行事、3度の食事など大切にしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1日1度は外出できるよう・管理者、職員は利用者の外出の支援を積極的に行っている。散歩、買い物、イルミネーション見物、ドライブ、外食など機会を捉えて外出支援を行っている。		
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、職員は鍵を掛けることの弊害を理解しており施設は昼間開錠してある。職員は気配りをして利用者の動きを察知しながら見守りを行っている。また暑い時には風を感じてもらうために玄関を開けっ放しにする事もある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練を行っている。1回は消防署にお願いをしている。通報装置の点検や避難訓練など行っている。近隣にも協力依頼を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れた食事の提供に心がけている。また水分補給に気を配っている。汁物は3食についている。牛乳、お茶などで1日1500ccを目安にしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には3箇所テーブルが配置されている。利用者はそれぞれのテーブルで過ごされている。広間につるされている「吊るし柿」が季節感を醸し出している。光もやわらかく心地よい環境を作り出している。整理された空間にはテレビが置かれている。また神棚がある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドが備え付けになっている。その他は持ち込み自由。部屋は一人ひとりの個性が現れていた。箆笥、椅子、テレビ、写真、整理用用品入れ等持ち込まれていて、個性ある部屋となっている。		